

# 会 議 録

|       |                                                                                                                         |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会議の名称 | 平成28年度第1回茨木市環境審議会                                                                                                       |
| 開催日時  | 平成29年3月21日（火）<br><div>（午前）・午後）10時00分 開会</div> <div>（午前）・午後）11時30分 閉会</div>                                              |
| 開催場所  | 市役所南館3階 防災会議室                                                                                                           |
| 議 長   | 三輪 信哉                                                                                                                   |
| 出 席 者 | 石山 郁慧、岩渕 善美、久米 辰雄、天保 好博、藤田 紫、<br>前迫 ゆり、三上 雅弘、三輪 信哉、武蔵野 實、森下 恭子、<br>山田 俊一 <b>【11人】</b>                                   |
| 欠 席 者 | 玉井 昌宏 <b>【1人】</b>                                                                                                       |
| 傍 聴 人 | 1人                                                                                                                      |
| 事務局職員 | 神谷産業環境部次長兼資源循環課長、<br>松山環境政策課長、吉岡環境政策課参事<br>井澤環境政策課政策係長、谷口環境政策課推進係長、<br>野口環境政策課職員 <b>【6人】</b>                            |
| 開催形態  | 公開                                                                                                                      |
| 議題・報告 | 1 議題<br>（1）いバラきの環境について（平成27年度年次報告書）                                                                                     |
| 配布資料  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度版いバラきの環境（平成27年度年次報告書）</li> <li>・平成28年度版いバラきの環境（平成27年度年次報告書）資料編</li> </ul> |

| 議 事 の 経 過 |                                                                                                                                          |
|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 発言者       | 議 題（案 件） ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項                                                                                                             |
|           | 1 開会                                                                                                                                     |
|           | 1 審議会の成立の確認                                                                                                                              |
| 会長        | 本日の委員の出席状況について、事務局から報告を願いたい                                                                                                              |
| 事務局       | 本日は12人の委員のうち、11人に出席いただいている                                                                                                               |
| 会長        | 本日は半数以上の委員が出席しているので、環境審議会規則第3条第2項により会議は成立している。                                                                                           |
|           | 1 公開・非公開の確認                                                                                                                              |
| 会長        | 議事に入る前に、本会議の公開・非公開について確認したい。審議会等の会議の公開について、事務局の説明を願いたい。                                                                                  |
| 事務局       | 「茨木市審議会等の会議の公開に関する指針」の第2によって、原則として審議会を公開の対象となる会議と規定しており、同指針第4では公開・非公開を審議会の中で決定することとなっている。なお、環境審議会では、既に会議資料も含めて原則公開と決定しており、傍聴要領のとおり定めている。 |
| 会長        | ただいまの説明のように、本審議会は原則公開としており、本日は公開でよろしく願いたい。                                                                                               |
|           | 1 議題                                                                                                                                     |
| 会長        | それでは議題に入る。事務局から「いばらきの環境について（平成27年度年次報告書）」説明をいただきたい。                                                                                      |
| 事務局       | 「1 いばらきの環境について（平成27年度年次報告書）」<br>いばらきの環境に基づき、概要を説明                                                                                        |
| 会長        | 事務局から説明があったが、環境基本計画の記載では、本審議会では年次報告書に対して助言を行うこととなっている。内容について、質問、意見等はないか。                                                                 |

| 議 事 の 経 過 |                                                                                                                                                                                                                                            |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 発言者       | 議 題 ( 案 件 ) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項                                                                                                                                                                                                            |
| A委員       | <p>平成27年の実行計画に基づいた実施状況の報告があったが、各課題についてバランスよく進められていると思う。特に、改善されているところについては、市民へのPRを強くしていただきたい。</p> <p>騒音について、工場や工事現場の騒音は一過性のものであるが、道路の周辺地については、車の数が少なくならないので、夜がうるさいと生活できない。夜間の騒音対策に、力を入れてほしい。夜間の騒音については、どういうクレームが多いのか。</p>                   |
| 事務局       | <p>工事については、夜間の苦情は少なく、昼間の苦情がほとんどである。道路関係について、車の爆音の苦情があるが、環境サイドだけでは対応が難しい。他には、カラオケの音漏れなどの苦情がある。</p>                                                                                                                                          |
| 会長        | <p>資料編の33～35ページに「一般環境」の騒音測定結果が載っているが、青がけの部分については、環境基準未達成である。これによると、中央環状線などの太い道路付近で未達成のほか市内各点が未達成であるが、未達成部分についてどのような傾向があるか。</p>                                                                                                             |
| 事務局       | <p>33ページについては夜間に超えているところが多いが、5月に調査をしており、田が近くにあるので、カエルなどの自然音によることが多い。35ページの道路に面する地域については、おおむね90%近くは達成されているが、中央環状線は交通量が多く、大阪府やNEXCOに依頼して対策しているが、難しいところもある。</p>                                                                               |
| A委員       | <p>カエルの音を分けて測定すべきでは。時期を分けて複数回測定して、5月だけが多いのであれば、自然音として納得してもらおう。</p>                                                                                                                                                                         |
| 事務局       | <p>もう少し調査時期を早くできればと考えている。</p>                                                                                                                                                                                                              |
| B委員       | <p>基本的に良くできていると思うが、4ページについては、目標の達成率について何をもって達成とするのか、どこを目指しているのかが分からない。指標を書く時は、指標の意味と位置づけを示すべきである。</p> <p>光化学オキシダントは、未達成と書いているが、本当の意味で未達成なのか。最高値を見ると未達成でも、1年間を通して見ると0.06であって、悪くない。住宅地は基準以内になっており、いごこちの良い茨木になっているので、データのまとめ方をもう一工夫してほしい。</p> |
| 会長        | <p>ご意見として承る。</p>                                                                                                                                                                                                                           |

| 議 事 の 経 過 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 発言者       | 議 題（案 件） ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| C委員       | 22ページのごみの減量化の推進について、地域の感覚としては減っていないという実感があるが、本当に減っているのか。                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 事務局       | 家庭系ごみについても、事業系ごみについても、現実に減っている。                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 会長        | 「市民1人1日あたりの家庭系ごみ排出量」が519 gから469 gに減っているのは画期的である。市民の協力があるのでは。                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| C委員       | 地球温暖化のガス排出量について、排出係数はどのような計算式で算出しているのか。                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 事務局       | 計算方法は、国の「地球温暖化対策の推進に関する法律」で決まっている。電気、ガス等の使用量を洗い出し、法律で定めている係数を掛けて、温室効果ガスの量に換算して計算している。電気の係数については、電力会社がどのような発電方法で電気を作っているかで係数が大きく変わる。それぞれ数値を積み上げて計算している。                                                                                                                                                                            |
| B委員       | そのことに関連して、市として省エネを推進する方策・アドバイスとして、ピークシフトをずらすことによって排出係数を減らすことができる。午前8時～午後8時以降は電力会社がフル稼働をしているが、家事を午後8時以降にずらすことによって、環境負荷が低く、排出係数の低い電源が利用できる。ピーク時間帯を避けるなど、暮らしの工夫をPRすることで、排出係数が変わって、CO <sub>2</sub> 排出量は減る。                                                                                                                            |
| 会長        | 生活行動に影響できるような情報提供が必要ということである。                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| D委員       | <p>分かりやすく編集されている。ただ、1ページ目に基本施策が掲載されているが、2、3ページにも入れたほうが分かりやすい。基本的に、見開きで取組み方針と事業の紹介となっているので、余白を整理して見やすく編集してほしい。</p> <p>24ページについて、集団回収の量が減っているが、理由を書かれたらどうか。</p> <p>今後の話としては、現在、茨木は高速道路やダム建設で森林部分を開発している。イノシシ・シカは獣なので、工事現場以外のところにいるが、工事が終われば茨木にやってくる。防除の作戦を考えてほしい。2015年から、クビアカツヤカミキリという虫が大阪府に入ってきた。桜や桃の木を駄目にする虫なので、啓蒙を早くしたほうがいい。</p> |

| 議 事 の 経 過 |                                                                                                                                                                                                                                               |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 発言者       | 議 題（案 件） ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項                                                                                                                                                                                                                  |
| E 委員      | 北部の森林が静かな状態にしか見えない。資料編の地図も、きれいに緑で塗られていて、開発状況が全く書かれておらず、これが茨木の環境の現状を示すとするとう誤解される。彩都の工事もすごく進んでいる。今の開発の姿を市民に知らせて、市として、バランスをとれた自然環境をつくるために、監視、修復にどのように取り組もうとしているのかを、載せていかないといけない。彩都東は工事が進んで、安威川の右岸は、場所によっては細い状態でしか緑が残っていない現実がある。市民に知らせていかないといけない。 |
| 会長        | D 委員から指摘のあった集団回収の減少理由については、どうか。                                                                                                                                                                                                               |
| 事務局       | 大半を新聞が占めているが、その新聞の回収量が減っているため、全体では減っている。                                                                                                                                                                                                      |
| D 委員      | パソコンや携帯でニュースを見るようになったので、新聞を読まなくなったということか。文章を読むと、単に集団回収に出さなくなっていると思われる。                                                                                                                                                                        |
| 事務局       | 集団回収とは別に市でも回収している。市の回収率が上がってきているので、集団回収から市の回収にシフトされている部分もあるのではないかな。理由については、正確な記述が難しい。                                                                                                                                                         |
| 会長        | <p>詳細な分析は書けないが、文言を変えろということの良いか。新たな害虫の被害の啓蒙をしっかりすべきだという点についても、対応が可能かもしれない。</p> <p>開発が進んでいるのは確かで、茨木の姿は大きく変わっているが、どこにも表記されていないのは憂うべき部分である。</p> <p>また、開発、環境保全を扱っている部門はあるのか。おそらく、環境担当課が扱わなければどこも扱わない。</p>                                          |
| 事務局       | 当然、10年前から比べると、開発が進んでいる状況なので、計画等と整合させながら、どこかで市の現状を書けるよう研究していく。                                                                                                                                                                                 |
| 会長        | 計画自体が市にない場合もある。国や私企業のことになると市での実施が難しい。緑地面積の減少などをグラフ化できればしてほしい。                                                                                                                                                                                 |
| A 委員      | 人口を減少・流出させず、住みやすい茨木のため、あるいは新しい雇用                                                                                                                                                                                                              |

| 議 事 の 経 過 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 発言者       | 議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| E 委員      | <p>を創出するために開発するのは、行政として大切なことで必要と思う。だが、自然を破壊するような開発の仕方は、避けるべきで、茨木市の北部の山から木が少なくなると、自然災害が発生しやすくなり、いい街をつくっても、自然災害で流される恐れが高まる。</p> <p>害獣関係では、北部に行く人の活動量が減ってくると、シカやイノシシが下りてくるようになって、南のまちの暮らしもおびやかされる。市のバランスを考えたら、北部のことももっと考えたほうがよい。</p> <p>森林サポーター養成講座は、参加数が伸び悩んでいる。講座の時間数が長く、立派過ぎて二の足を踏む。講座を受けても実践の森林ボランティアの活動に回ってくれない。茨木の北部に向かう人が増える導入になるような軽い講座にしてほしい。里山センターは、製材機械を持っている貴重な場所。一部の人だけではなく、市民が広くも使えるような制度を組んでほしい。</p> |
| C 委員      | <p>南部の農地で、子どもたちと一緒に農業をしているので、南部地域についても把握してほしい。バランスが大切である。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| F 委員      | <p>森林の面積の客観的なデータがあれば、記載していただきたい。水田や耕作地の変化なども、具体的な数値がでているだろうから、跡付けてほしい。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| G 委員      | <p>31ページに、進行管理が載っている。できれば、1ページの冒頭に、PDCAをどのように行うのか記載してもらえると非常に分かりやすい。</p> <p>14ページの「(3) 生物多様性の保全」の部分の項目立てが分かりづらい。採取した生物の写真が使われているが、河川の状況や、森林の状況が分かるような写真に差し替えるべきである。</p> <p>また、資料編の10ページの地図で分かるように、茨木市には河川がたくさんあり、北部の森林が駄目になると、川が駄目になり、農地が駄目になる。ここの地図をもう少しパワフルに、分かりやすくできないか。一見して分かるように、見える化につなげていってほしい。</p>                                                                                                       |
| 会長        | <p>1ページの大きな木の絵は意味がないので、資料編10ページのような図を入れてほしい。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| H 委員      | <p>PDCAということで、LEDの導入のところは、今後の目標を入れるとより分かりやすいのではないか。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |

| 議 事 の 経 過 |                                                                                                                                                                                  |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 発言者       | 議 題（案 件） ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項                                                                                                                                                     |
| I 委員      | 全体的に各項目グラフが見やすく良いが、全国平均や大阪府の平均を載せることによって、一般の人にも見やすく分かりやすくなる。見ることにより環境教育や評価にもつながる。                                                                                                |
| D 委員      | 8 ページの 3 つめの不法投棄処理件数は、平成26年までは減少していたが、平成27年度で増加した理由はどういったものか。                                                                                                                    |
| 事務局       | 数字は、通報があって環境事業課が処理を行った件数である。結果の数字しか出ていないので、平成27年度の増えている理由については、把握できていない。                                                                                                         |
| D 委員      | 人が行かない北部は、ごみが多い。まちの環境は、素晴らしくされているが、茨木の半分は山なので、茨木の北部も視野に入れながら、環境行動を促進してほしい。                                                                                                       |
| B 委員      | 指標が極端に悪化している部分については、何らかの対策を記載してほしい。                                                                                                                                              |
| 会長        | 8 ページの路上喫煙率0.2%という数字は、どうやって計算したのか。                                                                                                                                               |
| 事務局       | 市内で複数の地点を選び、一定の時間帯の間に路上喫煙している人間をカウントして割合を出している。                                                                                                                                  |
| I 委員      | 資料編の別 2 のページについて、温室効果排出量の算出は産業連関表を使って出されたのか。                                                                                                                                     |
| 事務局       | 計算方法としては産業連関表を使うという方法と、1 から市の数字を積み上げて作るというふたつの方法がある。一般的には、連関表を用いて按分して出すこともあるが、茨木市の場合はできる部分は積み上げ、一部統計資料等を使用して算出する複合型という方法で算出している。廃棄物の量であれば積み上げており、民生・業務部門の延べ床面積は、エネルギー統計から計算している。 |
| J 委員      | 表示方法については、目標に対して何%か書いてもらったほうが見やすい。目標に満たない場合の原因をだして、次の施策を出す。<br>9 ページに環境美化活動の一環で、6 月に一斉清掃とあるが、中央環状                                                                                |

| 議 事 の 経 過 |                                                                                                                                              |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 発言者       | 議 題（案 件） ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項                                                                                                                 |
|           | <p>線であれば、大阪府から一斉清掃の企業呼びかけがある。茨木市から一斉清掃の呼びかけがあれば、企業として協力する。そうすると皆さんの負担も少なくなる。</p>                                                             |
| B 委員      | <p>毎週 1 回事務所のまわりのごみ拾いを自主的にやっている。毎回何十kg くらいかのごみが集まる。企業にお願いするのも大事。積極的な呼びかけを定期的にする仕組みができればいい。</p>                                               |
| 会長        | <p>各企業、環境を意識しているので、働きかけを強めていただきたい。そういう項目も 1 項目出てくれば良い。</p>                                                                                   |
| C 委員      | <p>29年度の冊子はいつ発行するのか。</p>                                                                                                                     |
| 事務局       | <p>今年度は、スケジュール的に遅れてこの時期になってしまった。予定では秋ごろに審議会を開く。</p>                                                                                          |
| G 委員      | <p>14ページの「環境資源調査の実施について」のところで、冊子等の作成を行う予定と書かれているが、冊子は初めて作成されるのか。今までも調査されているのか。</p>                                                           |
| 事務局       | <p>茨木市の生物多様性の冊子については、初めて取り組みを進めた。市域のデータでまとまったものがないので、27年度、28年度の2年間にわたって調査し、今年度末までに報告書を取りまとめて、分かりやすく概要を作って周知したい。</p>                          |
| G 委員      | <p>冊子のタイトルは決まっているのか。仮タイトルがあったら、発刊予定を書いてもらったほうが良い。良いことはアピールしていく。分かっていることは明記していく。書き方を工夫いただきたい。</p> <p>冊子「いばらきの環境」について、委員にチェックバックされる時間があるか。</p> |
| 会長        | <p>31、32ページの標記の仕方も含め、修正して、委員全員に見てもらうのか。</p>                                                                                                  |
| 事務局       | <p>本日いただいたご意見の中でも、報告書の冊子の記載方法や見せ方については、できるだけ早く対応させていただく。審議会からの助言ということで、何らかの形で報告書の中に記載していく。</p>                                               |

| 議 事 の 経 過 |                                                                                        |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------|
| 発言者       | 議 題（案 件） ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項                                                           |
| 会長        | 修正後は委員がチェックバックするのか。                                                                    |
| 事務局       | 委員の皆様に見ていただいたうえで、細かい表現は、会長と調整する。<br>委員の皆様にも、確認する。                                      |
| D委員       | ええことカレンダーの記事について、企業と連携したという形で紹介できたら良い。                                                 |
| 会長        | 23ページについて、電気式の生ごみ処理機を購入・設置した人に補助をしたとあるが、電気式の生ごみ処理機はエネルギーをすごく使う。減量政策との関連だと思うが、気になる。     |
| E委員       | 資料編12、13ページのところ、5番の内容が、13ページにも全く同じことが書かれているので、やめても良いのではないかな。                           |
| 事務局       | とりまとめたほうが分かりやすいという意見があったので、全体を重複させて掲載している。                                             |
| C委員       | 生ごみ処理機については、微生物で分解できるということであれば、ごみが10分の1以下になる。エネルギーの計算方法はわからないが、市民の意識を高揚させるためにはよかったのでは。 |
| 会長        | 31、32ページの審議会からの助言は、マトリックスにするのは厳しい。                                                     |
| 事務局       | 来年度は、秋ごろを目処にまとめさせていただいて、このような形で環境審議会でご意見をいただき進めていきたい。                                  |
| 会長        | 茨木の環境がよくなるように皆で力をあわせていきたい。                                                             |
|           | 1 閉会                                                                                   |